

大山見晴台のヌカルミ対策を実施しました

日付：令和6年6月1日（土）

- 自然公園指導員17名、パークレンジャー等スタッフ4名の計21名で、登山道の補修を行いました。今回は大山見晴台のヌカルミ対策と登山道の複線化対策を実施しました。
- 大山見晴台は、4年前に工事により大規模なヌカルミ対策を行いました。多くの方に大切に利用いただいておりますが、時間とともに踏み固められ、石がヌカルミに沈んだりして現在は雨が降ると水たまりができるようになってしまいました。



完成当初の見晴台



現在の見晴台

- 今回最大の作業は、大山寺から見晴台まで約5キロの砂利の歩荷です。作業の説明や準備体操を行った後、いよいよ女坂を経由して作業場所へ向かいます。普段より重くなった状態では女坂の急登は大変な作業です。途中、下社にて休憩をはさみました。



歩荷した砂利



作業場所に向けて出発

●作業場所の見晴台につきました。ここからは枠内で又カルミ対策を行う班と歩荷だけでは足りない分の石を集める班に分かれました。



●お昼休憩を挟んだ午後からは登山道の複線化対策も行いました。ここは前にも複線化対策を行った場所です。植生回復の傾向が見られましたが、その隣に新たに複線化している場所もあります。この場所に枝などを置いていきました。



- 複線化対策が終わるころには、又カルミ対策も無事に作業が終了しました。参加いただいた指導員の皆様ありがとうございました。また、作業中は登山道の一部通行止めにして、登山者の方にはう回路していただきました。当日見晴台を利用していた登山者の方にはご不便をおかけしました。ご理解・ご協力いただきありがとうございました。

